

山王病院整形外科

中村俊康

山王病院は東京都港区の青山一丁目駅および乃木坂駅から徒歩5分、赤坂見附、六本木も徒歩圏内で、東京のど真ん中にあります。病床数は78で、全室個室の病院です。産科が特に有名で東京のお産御三家の一つになります。当院は国際医療福祉大学の関連施設ですが、他の関連施設との人事交流は少なく、整形外科は常勤医師5名、非常勤医師2名の体制が継続しています。

手外科の診療は指導医・専門医の私、中村俊康と片山医師が担当しています。外来は月曜午前と木曜全日で、手外科関係の手術は年間約250例、そのほとんどがTFCC損傷、橈骨遠位端関節内骨折や母指CM関節の鏡視下形成術で、さらに肘関節鏡視下手術も行っていて、関節鏡関係の手術器械はほぼ取り揃えてあります。手術日は月曜午後、火曜午前（外傷枠）、水曜全日で、火曜の午後には手関節造影検査を行っています。私の専門が手関節疾患、特にTFCC損傷のため、TFCC損傷の患者さんは当院が交通至便のためか北は北海道から南は沖縄まで、すべての都道府県から患者さんがいらっやいます。

手外科研修施設には私が慶應から赴任した2014年からなっています。当院での研修では手外科一



山王病院外観

般の診療と治療手技の習得を第1目標とし、手関節や肘関節の骨折治療や偽関節治療を第2目標に、手関節鏡、肘関節鏡を中心とした最小侵襲な手術手技の獲得を最終目標に置いています。最終目標に到達するには最低1年間の研修が必要と思いますが、症例数が多いため、十分に到達可能と思います。1年を超えた研修も可能ですし、3か月間や6か月間の短期研修や手術見学も随時受け付けています(1年以上の研修の場合、有給となります)。

コロナ禍の2020年以前は国内はもちろん、ドイツ、ノルウェー、英国、米国、カナダ、オーストラリア、シンガポール、香港、韓国、タイ、マレーシアなどから手術見学がありました。コロナ禍の期間中の外国人医師の手術見学の受け入れはありませんでしたが、入国規制が緩和された2022年の10月からはすでに韓国、オーストラリア、タイからの手術見学者が来ています。研修期間中にこれらの外国人医師との交流ができ、場合により将来の留学先の開拓につながるのも本院の魅力と思います。

国際医療福祉大学臨床医学研究センター山王病院整形外科部長

連絡先 東京都港区赤坂8-10-16 山王病院整形外科

電話 03-3402-3151

E-mail: toshiyasu@ae.em-net.ne.jp